

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	662	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 計画的な生活道路の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・道路課						
	③事業主体	個別事業 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良	④対象地区		<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人							
	⑦事業費(人件費含む)	総事業費	93,348千円		当該(開始)年度	(当初)	11,335千円 (うち人件費 1,335千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の幅や路切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。				事業目的	狭あい道路を幅整備し、安全で円滑な通行を確保する。							
(3) 事業内容	内容	国道6号線と天王台駅北口(柴崎台地区)方面を結んでいる市道24-003号線の幅整備を行う。幅整備には、東京電力の特高ケーブルの移設等伴うことから、整備方法の検討が必要なることから、当面現道幅員を有効に使用できるよう、通行に支障となる電柱の移設を行う。				当該年度執行計画	架空線に加え、光ケーブル及び地下埋設管も併せて移設となったことから令和2年度実施できなかった、支障電柱の移設を行う。							
		当該年度活動結果指標	電柱移設の進捗率	単位	%	想定値	100		実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	電柱移設を完了する。					直接	電柱移設の進捗率		%	0	100			
令和4年度	道路幅幅に向けた検討					直接	検討の進捗率		%		10			
令和5年度	道路幅幅に向けた検討					直接	検討の進捗率		%		15			
(7) 事業実施上の課題と対応	幅に伴い、本道路の交通量がさらに増加し、歩行者や沿道居住者の安全性に対する課題が発生する。また、当該道路には、東京電力の特高ケーブルが埋設されており、整備方法によってはケーブル防護に多大な費用を要することが想定される。(防護費用は未計上)					代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	支障電柱移設	1,050	*	支障電柱移設 (令和2年度予算は減額補正し、令和3年度改めて予算要求)	10,000		*	道路幅幅に向けた検討	0	*	道路幅幅に向けた検討	0
		合計	1,050	合計	10,000	合計	0	合計	0					
		補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
一般財源	1,050	10,000	0	0	0	0	0							
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15							
正職員人件費	1,305	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335							
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0							
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,355	11,335	11,335	11,335	11,335	11,335	11,335							
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	23.55千円/%		113.35千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価					事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都市計画道路3-5-18号後畑・巻の内線の延長に位置する市道24-003号線は、国道6号線と天王台駅北口(柴崎台地区)方面を結ぶ道路として、通行量が多い。しかし、国道6号交差点付近(我孫子妻子原地先)は、幅員が2間(3.64m)程しかなく、すれ違いが困難な状況にあり、通行に支障が出ている。このため安全で円滑な通行を確保するため、幅整備が必要となっている。					○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容			○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし					○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容			実施した具体的な内容		環境への配慮			○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし					○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			○要 ○不要
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			○要 ○不要
	11,335	△8,980	<削減の内容>			<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ○不要
	0.88		単位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				